

授業科目 地球環境論

【担当教員名】  澤口 晋一	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

【概要・一般目標：GI0】

地球環境問題の中から地球温暖化問題、オゾン層の破壊、生物多様性、放射性物質汚染について取り上げ概説する。地球温暖化は将来の世界に大きな影響を与えることが懸念されている。しかし、影響の大きさが喧伝される割には、温暖化によってこれまでどこで何が起きて、これからどこで何が起きると予想されているのか、さらにこの問題に関して国際社会は何をやってきて、これから何をしようとしているのか、といったことに関しては、一般には必ずしもよく理解されていない面がある。このような点を踏まえて、本講義では、地球温暖化が原因と考えられる諸現象について、できるだけ多くの事例を用いて説明する。ついで、この問題に対する国際社会の取り組みについて説明し、地球温暖化とその問題の全体像を把握する。後者3つに関しても問題の全体を把握し、問題の核心を分かりやすく解説する。

【学習目標】

地球環境問題とは何かを多角的に認識するとともに、この問題に対して、自己の位置づけを市民としての立場から明確化すること。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題備考・担当教員
1	「地球環境」とは何か。地球環境問題の原因と構造。		講義
2	地球環境問題への国際社会の取り組みとその歴史		講義
3	地球温暖化の検証（温室効果ガスの大気中濃度、気温の推移）		講義
4	温室効果のメカニズム（温室効果を正しく認識する）		講義
5	IPCCによる将来予測（第四次評価報告書 報告書に基づいて）		講義
6	地球温暖化に対する国際社会の取り組みと日本（気候変動枠組み条約、京都議定書、締約国会議）		講義
7	第四紀の気候変動からみた現在の地球温暖化の位置づけ、人為的温暖化反対説について		講義
8	放射性物質による環境汚染1 核燃サイクル概説		講義
9	放射性物質による環境汚染2 福島第一原発事故とその後		講義
10	オゾン層の破壊1 地球大気とオゾン層の生成・破壊、オゾン層保護に関する国際的取り組みとその成果		講義
11	オゾン層の破壊2 北極と南極のオゾンホール、その推移とメカニズム		講義
12	生物多様性1 生物多様性とは何か		講義
13	生物多様性2 熱帯林の破壊		講義
14	生物多様性3 動物保護などいくつかの事例		講義
15	まとめ（資源、エネルギーとの関係からみた地球環境問題）		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
--------	------	-------	-------	------------

教科書 (必ず購入する書籍)				
-------------------	--	--	--	--

参考書	<生物多様性>入門	鷲谷いずみ	岩波書店	2010・630円
-----	-----------	-------	------	-----------

その他の資料	気候変動2007：統合報告書 政策決定者向け要約	IPCC (L. Bernstein ほか)、文科省・気象庁・環境省・経産省	文科省・気象庁・環境省・経産省	2009・ <a href="http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf">http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf</a>
	平成22年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書 第1部	環境省	環境省	2009・ <a href="http://www.env.go.jp/earth/report/h23-05/1-1_chapter1.pdf">http://www.env.go.jp/earth/report/h23-05/1-1_chapter1.pdf</a>

【評価方法】 試験	【履修上の留意点】 上記2点の資料を明記したアドレスからダウンロードして出来ればカラーで印刷しておくこと。
--------------	--